



平成 29 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 双 葉 電 子 工 業 株 式 会 社  
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 高 橋 和 伸  
(コード番号 6986 東証第一部)  
問 合 せ 先 執 行 役 員 中 村 正 行  
業 務 管 理 本 部 長  
T E L 0 4 7 5 ( 2 6 ) 0 1 6 0

### 通期業績予想と実績との差異、営業外費用および特別損失の計上に関するお知らせ

平成 29 年 2 月 8 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)の通期連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、営業外費用および特別損失の計上について、併せてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 通期連結業績予想値と実績値との差異について

##### (1) 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想値と実績値との差異

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 64,200	百万円 △200	百万円 △100	百万円 △1,900	円 銭 △44.73
実 績 値 (B)	64,157	△384	△321	△2,371	△55.86
増減額 (B-A)	△43	△184	△221	△471	—
増減率 (%)	△0.1	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	69,830	1,493	1,140	△1,946	△44.75

##### (2) 差異の理由

###### 【営業利益および経常利益の減少要因】

電子部品事業のタッチパネルは、想定を上回る旺盛な需要に対して、設備投資を実施しましたが、設備の搬入・設置は完了したものの、量産にむけた設備調整に時間を要し、2ヶ月程度の遅延が発生しました。この間、想定を上回る旺盛な受注に対して、供給体制が逼迫し、特別輸送などの対応を行った結果、設備立ち上げにかかる初期費用および運送費等が増加し、営業利益の減少要因となりました。

また、営業利益の減少に伴い、経常利益も予想を下回りました。

###### 【親会社株主に帰属する当期純利益の減少要因】

後述のように、前回発表予想時の想定を上回る減損損失を計上したことによります。

## 2. 営業外費用の計上

平成 29 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)において、為替差益 115 百万円を営業外収益に計上していましたが、当第 4 四半期連結累計期間において、為替相場の変動により為替差損 530 百万円が発生したため、通期で 415 百万円の為替差損を営業外費用に計上いたしました。

## 3. 特別損失の計上

収益性の低下による減損の兆候がみられたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、生産器材事業の韓国子会社および電子部品事業の当社長生工場の固定資産の一部について、帳簿価額を回収可能価額まで減額しました。減損損失は、連結で 570 百万円、単体で 44 百万円を計上いたしました。

以 上